２０２６年度　東京都立大学大学院

人文科学研究科　入学試験

（2 月入試）

教室名（分野名）	社会学教室
課程	博士後期課程
試験区分	☑　一般学生 □　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	言語科目（英語）
出題の意図	I. 社会学の専門的な分野の文献を読むために必要な英語の力を問う問題である。 II. 社会学の専門的な分野の文献を読むために必要な英語の力を問う問題である。 III. 社会学の専門的な分野の文献を読むために必要な英語の力を問う問題である。 IV. 社会学の専門的な分野の文献を読むために必要な英語の力を問う問題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

大学院人文科学研究科社会学分野 博士後期課程

2026（令和 8)年度入学者選抜 試験問題

2026 年 2 月実施

言語科目（英語）

受験生は、下記の注意事項をよく読んで解答せよ。

1. 問題は I~IV の 4 題である。
   I、II、III、IV の各問題ごとに、答案用紙を 1 枚ずつ用いて解答せよ。
   （答案用紙の枚数は、受験生 1 人について計 4 枚である）

2. 答案用紙ごとに、必ず、受験番号と氏名を記入せよ。

3. 答案用紙はウラ面を用いてもよい。ただしウラ面を用いた場合はオモテ面にその旨を記せ。

4. 監督員の指示があるまで、問題を開いてはならない。

I 以下の英文を読んで問題に答えなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

（出典 Gonalons-Pons, P., & Marinescu, I. (2024). Care Labor and Family Income Inequality: How Childcare Costs Exacerbate Inequality among US Families. *American Sociological Review*, *89*(6), 1075-1103.）

1. 【A】を和訳しなさい。

2. 筆者らは分析結果からどのような学歴による違いがみられたと述べているか、日本語で説明しなさい。

II　次の英文を読み、下の問いに答えなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

※出典　Brown, Phil, 1996, *Perspectives in Medical Sociology*, 2nd ed., Illinois: Waveland Press, Inc.　ただし出題の都合、改変の箇所がある。

問1　下線部①の意味を本文中に取りあげられている例を使いながら、日本語で説明せよ。

問2　下線部②の意味をわかりやすく、日本語で説明せよ。

問3　下線部③を日本語に翻訳せよ。

III　以下の英文を読み、問１と問２に日本語で答えよ。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典 Robert M. MacIver, *The Modern State*, Oxford University Press, 1928.

問１　１つ目の段落において、筆者は‘state’に対する多様な定義を列挙している。それらを10個以上、15個以下挙げよ。解答にあたっては「(1)AAA、(2)BBB、(3)CCC」というように番号を付けよ。

問２　下線部を翻訳せよ。

Ⅳ　次の英文を読み、下の問いに日本語で答えなさい。

問題本文は著作権上、ホームページに掲載することができません。出典を参考にするか、東京都立大学南大沢キャンパス人文社会学部教務係の窓口で閲覧してください。

出典：Bruno, Latour, 2005, *Reassembling the Social: An Introduction to Actor-Network-Theory*, Oxford University Press.

（1）下線部①を日本語に訳しなさい。
（2）下線部②の理由を本文の内容に即して答えなさい。
（3）下線部③を日本語訳しなさい。

２０２６年度　東京都立大学大学院
人文科学研究科　入学試験
（2 月入試）

教室名（分野名）	社会学教室
課程	博士後期課程
試験区分	☑　一般学生 ☐　外国人特別学生（留学生）
試験科目名	論文
出題の意図	博士前期課程での研究や先行研究の知見を踏まえ、後期課程での自身の研究内容・計画を適切に表現する能力を問う課題である。

※公開している入試問題について、私的利用以外の目的で複製・転載・転用することを一切禁じます。

大学院人文科学研究科社会学分野 博士後期課程

2026（令和 8)年度入学者選抜 試験問題

2026 年 2 月実施

論文

受験生は、下記の注意事項をよく読んで解答せよ。

1. 答案用紙に、必ず、受験番号と氏名を記入せよ。

2. 監督員の指示があるまで、問題を開いてはならない。

3. 解答は答案用紙の両面 1 枚以内にまとめよ。ただしウラ面を用いた場合はオモテ面にその旨を記せ。

論文試験問題（博士後期課程）

博士（後期）課程期間内に予定している自らの研究活動について、以下の諸点に留意しつつ、その研究プログラムのあらましを、答案用紙両面 1 枚以内で記述せよ。

①問題設定（研究目的・課題や研究の意義について）

②関連する先行研究（学者名および具体的内容）

③理論枠組あるいは仮説の提示・検討

④研究方法あるいは調査計画

⑤自分がこれまで行ってきた研究との関連

＊必ずしもこの順序で記述する必要はない。